

# 学術情報センター ニュース

## 第30号目次

### 《トピックス》

- ・副所長就任のごあいさつ ……………2
- ・電子図書館システム試行運用のモニター募集 ……4
- ・超高速通信網の研究開発の概要 ……………5
- ・与党政策調整会議が学術情報センターを視察 ……6
- ・海外からの来訪者 ……………7
- ・タイとの国際学術共同研究（科研費共同研究）プロジェクト ……………9

### 《NACSISサービス案内》

- ・サービスの休止 ……………9
- ・東京近隣地域からの学術情報センターの利用方法 ……………10
- ・SINETノードの整備・拡充  
ー学術情報ネットワークノード機関の全てにSINETノードが整備されましたー ……14
- ・JOIS提供データベースの変更 ……………14
- ・JOIS接続のための漢字コード ……………15
- ・「学術雑誌日次速報データベース」入力説明会報告 ……………15
- ・Gopherによる案内情報の提供開始 ……16
- ・「NACSIS-IR利用の手引き」英文版の提

- 供開始 ……………16
- ・「平成5年度学術研究活動に関する調査」結果の概要 ー中間報告ー ……………17
- ・学術情報センターシステムの継続手続きの変更 ……………18
- ・科学研究費補助金による利用期限（2月15日） ……20
- ・接続ニュース ……………20
- ・NACSIS-ILL利用状況  
（平成6年度前期） ……………21
- ・NACSIS-IRデータベース収納状況 ……22
- ・NACSIS-CATデータベース構築状況 ……24

### 《講演会など》

- ・平成6年度学術情報センターシンポジウム開催 ……25
- ・INE'94（OSI相互接続デモ）で学術情報ネットワーク紹介 ……………27
- ・FID付設展示会に出展 ……………27

### 《その他》

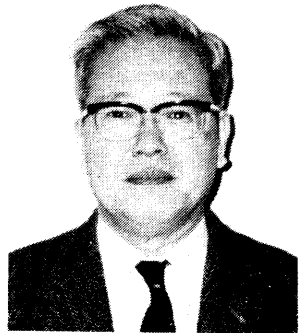
- ・参与・評議員・運営協議員・委員会委員名簿 ……28
- ・人事異動 ……………30
- ・海外渡航一覧 ……………30
- ・学術情報センター日誌 ……………30

学術情報センターニュースは23号からオンラインでも見ることができます。

## 副所長就任のごあいさつ

学術情報センター副所長

山田 尚勇



本センターの研究開発部長をお受けしたときから6年半が経ち、本年4月からは、副所長を仰せつかった。それで40年にわたった私の学究生活を顧りみて、近ごろ感じていることを少しばかり書かせていただいて、就任のごあいさつに代えることにしたい。

子供のころは何となく科学や工作の好きだった私であるが、中学3年のときに台湾で第2次大戦の終結に遭ったあと、旧制高校では理科を選んだものの、既成の秩序や価値観が激しく崩壊するのを目のあたりにして、永久に価値を失わない真理なるものを求めているうちに、大戦中に頑として時流に動かされなかった哲学者たちのあったことを知り得たこともあって、私は哲学に大きな関心を持つようになった。

しかし当時は哲学などは生計を立てられる道とは考えられておらず、代わりにまだ多分に哲学的な余韻のあった物理学に惹かれたが、外地からの引揚げ家族の一員として、経済的安定の考慮を薦める父の意を汲み、旧制大学では妥協点として電気工学の道を選んだ。

そうした背景を持った者にとって工学というものは、いわば見事な体系を持ったアートではあっても、現時性という妥協の上に立つものとして、すぐに古くなるという側面を合わせ持ち、恒久の真理とは次元が異なることが分かって、私を失望させた。

しかし当時出現したばかりのコンピュータは、ついには思考において人間を凌ぐ可能性を秘めるものと予想されており、私はその哲学性に魅了された。

当時稼働していたコンピュータは、主記憶装置の容量がたったの128語しかない、今から考えればオモチャに等しい簡単なものであったにもかかわらず、すでに研究者たちは人間と独立して思考できる機械、音楽を作曲する機械などの出現について語り合っていた。もっとも科学小説などには、当時すでにそのようなコンピュータの出現は当然のこととして描かれていたし、さらに万能のコンピュータが社会にもたらす弊害についてさえ、早くにはロシアの反体制小説家エフゲニ・ザミャティン（1918年）やイギリスの小説家で批評家のエドワード・フォースター（1936年）たちによって警告されていた。

そうした環境の中にあって、卒業論文を書くときと旧制大学院1年のときに私は、そのころ東京大学と東芝（株）とが共同開発していた、TACという電子計算機の開発やテストなどのお手伝いできた。そのあと、世界最初の電子計算機 ENIAC を開発したアメリカのペンシルバニア大学に、あこがれて留学した。

残念ながら ENIAC は、そのときにはすでに他の機関に移設されたあとであったが、幸いコンピュータによる、電話の電子交換システムの開発プロジェクトに参加することができ、本センター所長の猪瀬博先生も研究員として一時参加されたこともあり、楽しく張り合いのある研究生生活を送ることができた。

しかし今になってみると、コンピュータへの道は私にとって最善の選択ではなかったのではないかと思える。なぜなら、その後のコンピュータほどに進歩の速いものは他に例が少なく、3年経つと知識の半分は時代遅れになるという状態がずっと続いてきており、恒

久的な真理に惹かれる私の性向とは、あまり整合性のない分野となったからである。

それを特に意識していたとは思わないが、その後の私の研究の関心は、哲学的とも言える、基礎へ基礎へとおのずと移って行った。すなわち、コンピュータのハードウェアの抽象化であるオートマトン理論や、ソフトウェアの抽象化である形式言語理論などの分野である。しかも私が関心を持ったのは、そうした抽象化の過程そのものであって、いったん抽象化が確立されたあとの展開は、だんだんと数学者たちの手に移って行った。

そのあとも、大規模な並列処理系の抽象化であるセル構造オートマトンによって、自然界、特に生物系における現象などをモデル化するという基礎的な研究と取り組んだが、現在ではその分野も一部の理論物理学者や理論生物学者の手に移ってしまった。

ほぼ20年にわたる滞米生活のあと東京大学に戻ったときにも、そうした研究への志向があったから、出身の工学部ではなくて、理学部からお招きを受けた次第である。

しかし日本語は、表記法が複雑だから、口述筆記やタイプライタを駆使した文書作りがむずかしく、日本、特に大学には、制度としても実質的にもアメリカでのような秘書は存在しなくて、私は仕事の生産性がかなり落ちてしまった。

これではならじと私の研究室では、突貫工事的なつもりで、日本文のためのタイプライタの基礎研究を始めた。それは、今では2ストローク方式として一部の専門家だけに知られる、高能率でしかも作業の快適性が高いシステムについてであった。

そのうちに、使用時のストレスは高いものの、初期の技能獲得訓練の期間が短くて済み、まあまあ使えるカナ漢字変換方式のワープロが商品化されて普及し出した。そのため、私たちの研究の関心は、一見複雑で習熟も作業もむずかしそうな2ストローク方式による入力、実はなぜ楽で自然な作業になるのかという、熟練作業の認知科学的考究に向かってしまった。基礎研究への私の志向が、人間の本质に向けてまたもや頭をもたげたのである。

私たちのそうした関心が、コンピュータを含め、われわれの使用するあらゆる道具類のインタフェースの向上を追求するヒューマンインタフェース学へと一般化して行くのに、そう時間はかからなかった。しかも一歩進んで、体系化された知識と人間との重要なインタフェースである、マニュアル類などを含む文書や、さらにはその出発点となっている、ことばの表記法の科学的な検討なども私たちの視野にはいつてきた。

そうこうしているうちに、本センターの研究開発部長の併任へのお誘いがあり、かなり世事にうとい私は、「学術情報」センターという一般的な名称になんとなく惹かれて、身に余る光栄と、お引き受けしてしまった。

古代ギリシアの哲人ディオゲネスを気取るつもりは毛頭ないが、考えてみると私の性向は、研究者一般にサービスを提供するという本センターの主務のように、広く豊かな気くばりを欠かせない仕事にはあまり向いていないことに、早く気づくべきであったと思う。

それでも、わが家の宗旨の祖である臨済の、「己を確立せなば、立処は尽く真なり」ということばに則って努力してきたつもりであるが、やはり「三つ子の魂百まで」という諺には勝てず、どうしても基礎へ基礎へと眼が向いてしまい、所長をはじめとするセンターの方がたに庇っていただくことが多くて、ありがたく思っている。

そんなふうに融通のきかない私が、このたび副所長の重任を仰せつかってしまったが、いまさら性格や関心の対象がそうやすやすと変えられるものではなからうから、私としては、ものごとを基礎から観る立場を守りつつ、センターのお役に立って行けたらと思う。

18世紀から19世紀にかけての産業革命が筋肉代替の、そしてコンピュータの出現が脳代替の変革の始まりであったとすれば、現在地球規模で展開しつつあるマルチメディア情

報通信網の構築を達成することは、それらを統合する神経系統の創出にも譬えられるべき、人類社会に課せられた大事業である。そうした大変革を遂行するにあたっては、基礎的・哲学的観点を持つことには大きな意義があるであろうから、諸賢のご協力を得て、微力の私にもささやかな貢献ができることを希望しつつ、努力を続けて行きたいと考えている。

## 電子図書館システム試行運用のモニター募集

学術情報センター研究開発部

電子図書館システムの試行運用のモニターを募集します。

電子図書館システムは、文献の検索情報とページ画像をデータベースとして蓄積し、インターネットを通して提供するシステムです。概要は本誌28号で紹介しています。現在、情報処理学会、電気学会、電子情報通信学会の三学会のご協力を得て、学会誌、論文誌、研究会資料、大会やシンポジウムの予稿集の1994年分のものからデータベース化を行っています。

このシステムを多くの方々に使用していただき、その評価をシステム改善に役立てたいと考え、モニターを募集します。大学・企業などの研究者、学生、図書館職員、大学職員の皆さんなど、多方面の方を想定しています。

提供するデータは、今回の試行運用のために学会から特に許諾を得たものです。利用に当たっては、事前に登録する必要があります。また、アンケートへの回答などのご協力いただくこととなります。

システムや試行運用に関する情報は、WWW(<http://www.nacsis.ac.jp>)で提供しています。申し込みにあたっては、上記参照の上、[els@nacsis.ac.jp](mailto:els@nacsis.ac.jp)まで、Subjectに'els monitor'と明記した上で、必要な情報をE-mailでご送付ください。

なお、モニター登録にあたっては、登録人数、資格などを各学会と打ち合せることになっております。結果はおってご連絡致します。また、このプロジェクトに関する情報を継続的に入手したい方も、ぜひご連絡ください。メーリングリストに登録します。その他の問い合わせ先も、すべて上記E-mailアドレスをお願いします。

## 超高速通信網の研究開発の概要

学術情報センター教授  
あさのしょういちろう  
 浅野正一郎

学術情報センターでは、平成5年度から文部省科学研究費補助金（創世的基礎研究、通称新プログラム）により「学術研究支援のための超高速情報通信網の研究開発」と題する研究を平成9年度までの5年計画で開始している。本研究は、東京大学、早稲田大学、東京工業大学、日本電信電話株式会社（NTT）との共同研究の体制を採っており、加えて本開発研究のテーマに関わりを持つ大学などの研究者や郵政省通信総合研究所が参加するものとなっている。

学術情報センターでは、研究開発部システム研究系の全体が連携して研究を推進しているが、特にネットワーク工学研究部門が研究の取りまとめ（研究代表者はネットワーク工学研究部門教授 浅野正一郎）を行っている。更に、平成5年度には本研究の推進のために、システム研究系に超高速通信方式研究部門と超高速画像情報処理研究部門の2部門が客員研究部門として定員化され、両部門の客員教授として早稲田大学から安田靖彦教授および東京工業大学から酒井善則教授、客員助教授として東京大学から瀬崎薫助教授並びにNTT通信網研究所から魚瀬尚郎助教授を迎えている。

学術情報センターで超高速通信網の開発を開始した背景には、近年の学術情報ネットワークの利用の急激な伸びがある。平成6年度には学術情報ネットワークの基幹通信回線の速度を6 Mb/sに向上してことは既にご紹介しているが、来年度にはより高度の通信回線予算を財政当局に要求しなければならない程利用の伸びは顕著であり、またこの傾向はGopherやMosaicの利用が進めば一層加速するものと思われる。一方、インターネットの運用に用いられているルータなどのネットワーク機器や運用方式は、45Mb/s程度（現在の米国の基幹インターネットの速度）で限界に達し、近い将来必要となる100Mb/sを超える通信回線を用いるためには新たなネットワーク方式を必要としている。日本以上にネットワークの利用が進んでいる米国では、高速コンピュータ通信プログラム（High-Performance Computing and Communication, 通称HPCC）が1990年代初頭から進められており、大学や国立研究機関の共同開発が行なわれている。HPCCの目標は、Gb/s程度の通信回線を利用したネットワークの開発、超高速ネットワークを前提とした新たな研究応用の開発、ネットワークコンピューティングの開発などを体系化したものであり、我々と全く同様の認識をもったものとなっている。また欧州委員会（European Commission:EC）でも、RACEと称する超高速ネットワークの開発を大規模に進めており、今後はネットワーク応用の開発まで範囲を広げることが発表されている。

言わば日米欧の開発が行なわれている中で、本開発を開始するために平成4年度から文部省、大学関係者並びにNTTと調整が行なわれた。この結果、NTTが開発に参加し、新たな高速通信網の開発のために用意する実験網に対する通信回線（当面の速度は155Mb/s）を、学術情報センター（大塚本館並びに千葉分館電子計算機棟）、東京大学、早稲田大学、NTT研究センターに布設し、平成9年度までの実験期間の間、超高速通信網の開発に関する各種実証実験に利用することになった。現在、この回線を用いた実験が行なわれている。なお、NTTは別途マルチメディア推進のための実験を広く開始する予定

であり、本開発もこれに含まれているが、他の実験計画に先行して通信が開始され、また通信回線の利用期間も長い。

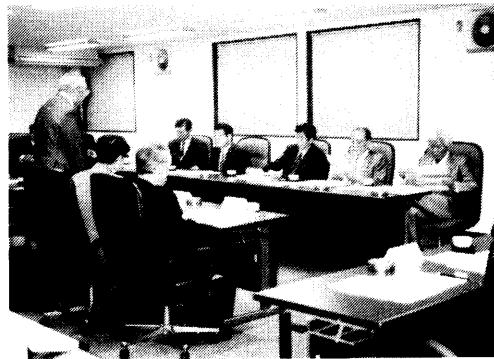
開発は大きく二つに分けられている。第一は超高速ネットワーク技術の開発であり、これには超高速通信回線の上に映像や音声を含む多様な情報を多重化できる方式であるATM(非同期伝送モード)を用いたネットワークの実証、多数の利用者の通信の間で相互に干渉を起こさないような管理技術の開発、学内LANを含めてネットワークを統合管理する方式の実証、会議通信のような多数の参加者との間で通信を構成するマルチキャスト通信のための高速プロトコルの開発など、多数の開発実証課題を用意している。第二には超高速アプリケーションの開発であり、マルチメディア情報からなる学術論文などを高速にディスプレイ上で検索することを可能とする電子図書館システムの開発、衛星などから取得される大量の画像情報の配送の実証、ビデオオンデマンドシステムを用いた講義や資料映像のライブラリの開発、遠隔ロボット操作などのリアルタイム応用の開発、マルチメディア分散処理のためのプラットフォームの開発などの一連の開発を予定している。

実験に参加する研究者と組織が順次拡大しており、開発は予定どおり進行している。本年度は今後の研究期間を通して利用する超高速通信網の基盤の完成を目指しており、来年度には海外の研究の現状との比較を含めた国際シンポジウムを開催し、皆様に開発の現状をご紹介します。またセンターニュースの中でも順次成果をご報告いたします。

## 与党政策調整会議が学術情報センターを視察

与党政策調整会議5名(加藤 紘一、保利 耕輔、関山 信之、田口 健二、菅 直人の各議員)は、11月9日(水)学術情報センターを訪れ、約1時間にわたって本センターを視察した。

議員は、猪瀬所長ら幹部職員の出迎えを受け、所長からセンターの概要などについて説明を受けた。続いて、センターの事業である目録システム、教官が研究開発中である電子図書館および高速通信実験のデモンストレーションを行い、議員からこれらについて熱心な質疑があった。



## 海外からの来訪者

平成6年10月初めに国際情報ドキュメンテーション連盟総会が埼玉県大宮市で開催され、図書館、情報科学関係の研究者が世界各国から多数来日されたが、会期中の貴重な時間を割いて学術情報センターへも多くの方々が来訪された。

10月4日、かねてから交流の深い英国図書館よりChief ExecutiveであるBrian LANG氏が初めてセンターをご訪問になり、センターの概要について説明を受けた後、猪瀬所長と懇談され、両機関の親交を深められた。その1週間後の11日には、研究開発部長Brian PERRY氏および副部長Terry CANNON氏が来訪され、猪瀬所長を初めとして研究開発部の教官と学術情報研究活動などについての懇談を行った。



Mr. Brian Lang



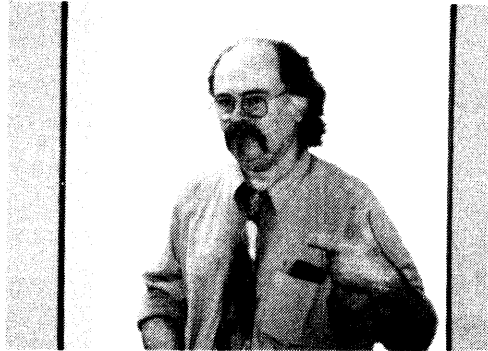
Dr. Brian Perry and Dr. Terry Cannon

また、来訪された何人かの方々にはその機会を利用し講演をしていただいた。9月30日には、ドイツ国立情報処理研究所所長補佐のUlrich WATTENBERG氏が「ドイツにおける情報流通の現状」と題して、統一後のドイツおよびEUにおける情報流通の問題点について、特に社会的側面からの解説を加えた講演を行われた。10月3日には、英国Oxford Text ArchiveのLou BURNARD氏が、Text Encoding Initiative (TEI) に関して「情報相互交換のためのTEIガイドラインの利用」と題して、TEIの背景となる考え方を解説し、人文科学におけるネットワーク資源の利用について講演を行った。10月13日には、仏国リール第三大学副学長Gérard LOSFELD氏と国立科学研究センター研究技師Katel BRIATTE氏が「人文科学分野における情報システム」と題して、モデルシステムの構築とその問題点に関する共同研究についての講演（日仏会館フランス事務所との共催）を行った。

いずれの講演も、情報科学のホットトピックとして大変興味深いものであり、特に人文科学における情報システムのあり方とその利用をめぐる種々の考察に対して各講演会とも参加者から熱心な質問が出され、盛んな討議が行われた。



Dr. Ulrich Wattenberg



Dr. Lou Burnard



Prof. Gérard Losfeld and Ms. Katel Briatte

### タイ国からの招へい



今年度から3年間にわたって文部省科学研究費補助金国際学術研究（共同研究）による研究「学術情報の国際交換に関する実証研究」（研究代表者：小野欽司教授）が行われているが、共同研究を行っているタイ国の研究者グループよりモンクット王工科大学学長PAIRASH Thajchayapong氏およびアジア工科大学

助教授VILAS Wuwongse氏を11月4日、学術情報センターに招き、研究打ち合わせを行った。

今回の打ち合わせにおいては、アジア太平洋地域における学術情報交流の重要性をとらえ、当地域における学術情報流通のあり方、展開のシナリオを議論することを含む3ヵ年計画が示された。

また、PAIRASH学長には特別に「タイ国における学術情報システムの現状と将来」と題する講演を行っていただいた。



## タイとの国際学術共同研究（科研費共同研究）プロジェクト

学術情報センター教授  
おのきんじ  
小野 欽司

国際事業の展開については、これまでに米国NSFや、英国BLとのCATプロジェクトを設定し、一応の成果を挙げたと思われる。文部省の国際学術交流の推進についての建議においても、アジア地域を今後の重点においており、NACSISとしてアジア地域との学術情報交流の拡大が一つの課題となっている。

今回の国際学術共同研究（学術情報の国際交換に関する実証研究：研究代表者 小野 欽司）では、相手国研究者からの強い要望、研究協力機関の存在、昨今の経済的、人的交流の拡大にともない今後緊密な国際学術交流の展開も期待されるタイ国との間でNACSISサービスを相手国から利用評価しながら、ニーズ、言語、他の手段の適用などを検討し、アジア地域における最適な国際学術情報交流方針を立てると共に、ネットワークの整備指針をうることを目的としている。

これに関連して、タイのNACSISに対応するプロジェクトの責任者であるモンクット王工科大学学長のPairash Thajchayapong博士がNACSISの招きで来日し、11月4日に特別講演会、共同研究に関する打ち合わせ、猪瀬所長との懇談を行った。

## サービスの休止

電子計算機棟が平成6年11月22日(火)に西千葉地区に竣工したことにより、電算機等設備の移転を平成6年12月17日(土)から実施いたします。この間の各サービスの休止期間は下記のとおりです。

利用者の皆様には大変ご迷惑をお掛けすることとなりますが、ご理解のほどお願いいたします。(本誌27号参照)

| サービス       | 休 止 期 間                     |
|------------|-----------------------------|
| 目録所在情報サービス | 平成6年12月17日(土)～平成7年1月7日(土)   |
| 情報検索サービス   | 平成6年12月17日(土)～平成7年1月7日(土)   |
| 電子メールサービス  | 平成6年12月17日(土)～平成7年1月3日(火)   |
| 学術情報ネットワーク | 平成6年12月17日(土)～平成6年12月22日(木) |

(共同利用課、システム管理課)

## 東京近隣地域からの学術情報センターの利用方法

公衆電話回線に端末を接続して、学術情報センター大塚地区に接続した後、学術情報センターのコンピュータを呼び出し、接続コマンドを入力することにより接続できます。これを利用すると、東京近隣の場合は、従来と同じ電話料金で、学術情報センターを利用することができます。

### <情報検索サービスへの接続例>

```

ATDP0339428940 ..... ①
CONNECT 144007REL ..... ②
*** Welcome to NACISIS ***
*****
***** NACISIS Available Hosts *****
*****
Specify Service Number ..... ③

1 : NACISIS-IR      (ir.nacsis.ac.jp)
2 : NACISIS-MAIL/BBS (simail.nacsis.ac.jp)

9 : Disconnect

Enter Number (1,2,9)==>1 ..... ④
Trying: 157.1.16.2
Connecting using IP ...connected session 1, ECMChar is ^ ^

VOS3 XNF/TCP 03-00 TELNET Service Ready.
The following application ids are available to TELNET.
The default is TSSTA

Valid Terminal Types

01 - LINE MODE (JIS7)          02 - FULL SCREEN MODE (ASCII)
03 - LINE MODE (EUC)          04 - FULL SCREEN MODE (EUC)
05 - LINE MODE (SHIFT-JIS)    06 - FULL SCREEN MODE (SHIFT-JIS)

Please enter terminal identification number:
4 ..... ⑤
LOGON TSSA
JET12012A ENTER USERID -
xxxxxx ..... ⑥
JET12026A ENTER PASSWORD FOR xxxxxx -
xxxxxx ..... ⑦
} ..... ⑧
}
}
>> ..... ⑨
}
}
}
    
```

```

>>LOGOFF ..... ⑩
  {
  { ..... ⑪
  {
Session 1 has been closed by the peer
*****
**** NACSIS Available Hosts ****
*****
Specify Service Number ..... ⑫

1 : NACSIS-IR      (ir.nacsis.ac.jp)
2 : NACSIS-MAIL/BBS (simail.nacsis.ac.jp)

9 : Disconnect

Enter Number (1,2,9)==>9 ..... ⑬
  {      <回線の切断> - ..... ⑭

```

- ① 学術情報センター大塚地区に電話をします。
- ② 電話回線（モデム間）の接続完了表示がされます。
- ③ 学術情報センターの接続メニューが表示されます。
- ④ 情報検索サービスの番号「1」を入力します。
- ⑤ 利用漢字コードがEUCの場合は画面モード「4」、シフトJISの場合は「6」を入力します。
- ⑥ 利用者番号を入力します。
- ⑦ パスワードを入力します。
- ⑧ 情報検索利用開始時のメッセージが表示されます。
- ⑨ 情報検索の各データベースを利用します。
- ⑩ 情報検索サービスの利用を終了します。
- ⑪ 切断時のメッセージが表示されます。
- ⑫ 学術情報センターの接続メニューが表示されます。
- ⑬ 回線切断のを行うための「9」を入力します。
- ⑭ 利用者からも回線の切断を行ってください。

<電子メールシステムへの接続例>

```

ATDP0339428940 ..... ①
CONNECT T44007REL ..... ②
*** Welcome to NACSIS ***
*****
**** NACSIS Available Hosts ****
*****
Specify Service Number ..... ③

1 : NACSIS-IR      (ir.nacsis.ac.jp)
2 : NACSIS-MAIL/BBS (simail.nacsis.ac.jp)

9 : Disconnect

Enter Number (1,2,9)==>2 ..... ④

```

```

Trying: 157.1.32.2
Connecting using IP ...connected session 1, ECMChar is ^ ^
ENTER CONNECT COMMAND "$$$CON, TSS, , EUC" OR "$$$CON, TSS, , JIS83"
$$$CON, TSS, , EUC ..... ⑤

NACISIS MHS SYSTEM    ON mm/dd/yy AT hh:mm:ss CHANNEL nnnn LU=APLnnnn

USER ID -xxxxxx ..... ⑥

PASSWORD--
xxxxx ..... ⑦
} ..... ⑧
}
SYSTEM ? ..... ⑨
}
}
SYSTEM ?BYE ..... ⑩
} ..... ⑪
}

Session 1 has been closed by the peer
*****
***** NACISIS Available Hosts *****
*****
Specify Service Number ..... ⑫

1 : NACISIS-IR      (ir.nacsis.ac.jp)
2 : NACISIS-MAIL/BBS (simail.nacsis.ac.jp)

9 : Disconnect

Enter Number (1,2,9)==>9 ..... ⑬
} <回線の切断> ..... ⑭
    
```

- ① 学術情報センター大塚地区に電話をします。
- ② 電話回線（モデム間）の接続完了表示がされます。
- ③ 学術情報センターの接続メニューが表示されます。
- ④ 電子メールシステムの番号「2」を入力します。
- ⑤ EUC漢字コード利用による接続コマンドを入力します。
- ⑥ 利用者番号を入力します。
- ⑦ パスワードを入力します。
- ⑧ 電子メール利用開始時のメッセージが表示されます。
- ⑨ 電子メールの各サービスを利用します。
- ⑩ 電子メールシステムの利用を終了します。
- ⑪ 切断時のメッセージが表示されます。
- ⑫ 学術情報センターの接続メニューが表示されます。
- ⑬ 回線切断のを行うための「9」を入力します。
- ⑭ 利用者からも回線の切断を行ってください。

## NACSIS-IR (情報検索) 設定パラメータ

| 設定項目    | 設定条件                       |                  |
|---------|----------------------------|------------------|
| 通信方式    | 全二重通信方式                    |                  |
| 通信手順    | TTY無手順 (非同期、調歩同期)          |                  |
| データ長    | 8ビット                       |                  |
| パリティ    | なし(NONE)                   |                  |
| STOPビット | 1ビット                       |                  |
| フロー制御   | RS/CS                      |                  |
| SI/SO制御 | なし                         |                  |
| エコーバック  | ローカルエコーしない (センターエコーあり)     |                  |
| 改行制御    | 端末→センター CRを送信              | センター→端末 CR/LFを送信 |
| 送信区切    | CR(0D)16                   |                  |
| 入力訂正    | BS(08)16                   |                  |
| 漢字コード   | EUC または シフトJIS (SHIFT JIS) |                  |
| 処理の中断   | ブ레이크信号                     |                  |

## NACSIS-MAIL (電子メール) 設定パラメータ

| 設定項目    | 設定条件                   |                  |
|---------|------------------------|------------------|
| 通信方式    | 全二重通信方式                |                  |
| 通信手順    | TTY無手順 (非同期、調歩同期)      |                  |
| データ長    | 8ビット                   |                  |
| パリティ    | なし(NONE)               |                  |
| STOPビット | 1ビット                   |                  |
| フロー制御   | RS/CS                  |                  |
| SI/SO制御 | なし                     |                  |
| エコーバック  | ローカルエコーしない (センターエコーあり) |                  |
| 改行制御    | 端末→センター CRを送信          | センター→端末 CR/LFを送信 |
| 送信区切    | CR(0D)16               |                  |
| 入力訂正    | BS(08)16               |                  |
| 漢字コード   | EUC                    |                  |
| 処理の中断   | ブ레이크信号                 |                  |

## NACSIS-IR, NACSIS-MAIL 共通

| 項目    | 通信条件                                |
|-------|-------------------------------------|
| 電話番号  | 03-3942-8940                        |
| 通信速度  | 14.4Kbps, 9600bps, 2400bps, 1200bps |
| エラー訂正 | MNP クラス4, V.42(LAPM)                |
| データ圧縮 | MNP クラス5, V.42bis                   |

(システム管理係)

## S I N E T ノードの整備・拡充

ー 学術情報ネットワークノード機関の全てに SINET ノードが整備されました ー

平成 6 年度の SINET ノード整備・拡充計画で、SINET ノード未設置のノード機関の整備と、既設 SINET ノード機器の更新を行い、11月22日から運用を開始しております。具体的な内容は以下の通りです。

(1) SINET ノードの新設(3 ノード)

群馬大学、東京工業大学、鹿児島大学

(2) 既設 SINET ノード機器(ルータ)の更新(8 ノード)

北見工業大学、弘前大学、金沢大学、信州大学、鳥取大学、岡山大学、長崎大学、琉球大学

これらの整備・拡充により、学術情報ネットワークの全国 28 箇所のノード機関の全てに SINET ノードが整備され、かつ集合型ルータでの運用が可能となりました。

なお、接続等の詳細については担当係までお問い合わせください。

(ネットワーク管理係)

## J O I S 提供データベースの変更

日本科学技術情報センター(J I C S T)から、学術情報センターとのゲートウェイによるデータベースの相互利用により、J O I S で提供するデータベースのうち、「C A N C E R L I T がん文献ファイル」および「I N F O T E R R A 環境情報源ファイル」を平成 6 年 1 2 月 2 9 日(木)で終了する旨の連絡がありましたのでお知らせします。J I C S T とのゲートウェイによるデータベースの相互利用に関しては、学術情報センターニュース第 2 6 号および第 2 8 号を参照してください。

なお、「C A N C E R L I T がん文献ファイル」については、「S T N International」で 1 1 月中旬にサービスする予定となっています。

また、「I N F O T E R R A 環境情報源ファイル」について利用希望の方は、ファイルの提供協力を行っていた国立環境研究所に J I C S T が取り次ぎしますので、J I C S T の各支部・支所にお問い合わせください。

その他の J O I S のデータベース(「J I C S T 科学技術文献ファイル」、「M E D L I N E 医学文献ファイル」など)の利用申し込みおよび S T N International 利用申し込みの詳細については、J I C S T の各支部・支所にお問い合わせください。

(共同利用第二係)

## JOIS接続のための漢字コード

学術情報センター（NACSIS）を經由して、日本科学技術情報センター（JICST）がサービスしているJICSTオンライン情報システム（JOIS）を利用する際に、一部の利用者で日本語の部分が文字化けする場合があります。文字化けしている方は、以下の方法により正しく表示することができます。

### 1. インターネット経由でNACSISに接続している場合

NACSIS接続時の端末モード（「Terminal Type」）をフルスクリーンモード（「04-FULL SCREEN MODE(EUC)」または「06-FULL SCREEN MODE(SHIFT-JIS)」）にし、JOISの漢字コードを標準の「JIS78」にする。

なお、半角の「¥」と「\$」が入れ替わる場合がありますので、その場合は「¥JOIS」を「\$JOIS」で入力してください。

### 2. 公衆電話回線等からNACSISに接続している場合

NACSIS接続時の端末タイプ（「Terminal Type」）を「JIS83」にし、JOISの漢字コードを「JIS83」に変更する。または、NACSIS接続時の端末タイプを「5217」にし、JOISの漢字コードを「JIS78」に変更する。

JOISの漢字コードは、JOIS側で用意している「\$SET」コマンドにより変更することができます。なお、JOISの「JIS78」は「5217」というコードで、「JIS78」のコードとは一部異なります。

（共同利用第二係）

## 「学術雑誌目次速報データベース」入力説明会報告

平成6年11月1日からNACSIS-IRでサービスを開始した「学術雑誌目次速報データベース」は、このデータベースの形成事業に参加する機関の共同分担入力により、国内の学術雑誌に掲載された論文・解説記事・資料などの各種記事データを収録しています。

学術情報センターでは、大学等の研究機関で刊行する紀要類の収録を促進するために、事業への参加方法・データ作成方法などに関する「入力説明会」を、平成6年9月～10月に全国6ヶ所の会場で開催しました。説明会には、大学・短大・高専・大学共同利用機関など552機関から、各機関で分担入力を行う図書館系職員を中心として792名の参加がありました。説明会以降、多くの機関から参加の申し込みをいただいております。

今後、このデータベースの内容、あるいは、形成事業への参加方法などについてのお問い合わせがありましたら、データベース課文献データベース係（TEL.03-3942-6975～6、FAX.03-3942-9398）までご連絡ください。

（データベース課）

## Gopherによる案内情報の提供開始

学術情報センターでは、センターの研究・事業活動の案内をより充実させるために、Gopherによる情報提供を開始しました。このGopherでは、学術情報センターの紹介、利用方法の案内、ドキュメント類の頒布等を行っています。また、Gopherから直接、センターのIRシステムや電子メールシステムへの接続も可能になっていますので、ご利用ください。

なお、Gopherは、Mosaicクライアントから利用することができます。URLを、[gopher://nxws.op.nacsis.ac.jp](http://gopher://nxws.op.nacsis.ac.jp) と指定してください。また、WWW (World Wide Web) による提供についても近く運用を開始いたします。

```

Internet Gopher Information Client 2.0 pl10
Root gopher server: nxws.op.nacsis.ac.jp

--> 1.  About NACISIS/
      2.  NACISIS Center News (japanese)/
      3.  NACISIS Newsletter (English)/
      4.  Guide to NACISIS Services/
      5.  NACISIS-IR/
      6.  NACISIS-CAT and NACISIS-ILL/
      7.  NACISIS-MAIL and NACISIS-BBS/
      8.  Network/
      9.  Education and Training/
     10.  NACISIS Research and Development/
     11.  Other gopher/

Press ? for Help, q to Quit                                Page: 1/1

```

Gopher トップメニュー画面

(数値・画像データベース係)

## 「NACISIS-IR利用の手引き」 英文版の提供開始

1993年8月から、海外の高等教育・研究機関の研究者等への情報検索サービスの提供を開始しましたが、当サービスの利用をより深め有効にご利用いただくために、英文版による「NACISIS-IR利用の手引き」を作成しました。この手引きの入手は、オンラインによる次の2通りの方法で可能です。

### Gopherによる提供

Access Guide for NACISIS-IR for users outside of Japan (MAC)

- ・マッキントッシュのMicrosoft Word(Ver.5.1)で作成したファイルをHGXファイルに変換したファイルが格納されています。ファイル転送後、元のファイルに再変換が必要です。

Access Guide for NACISIS-IR for users outside of Japan (MS-DOS)

- ・MS-DOSのtextファイルが格納されています。図・表部分は省略されています。

### Anonymous FTPによる提供

IPアドレス : 157.1.32.5

ドメイン名 : info.sinet.ad.jp

ディレクトリ名 : pub/ir/mac および pub/ir/msdos

- ・ファイル形式でディレクトリを分けてあります。各々のファイル形式の注意事項は上記と同様です。

(国際企画係)



## 「平成5年度学術研究活動に関する調査」結果の概要

### －中間報告－

学術情報センターでは、学術研究活動の現状把握と「研究者ディレクトリ」の充実・更新を目的として、標記調査を実施しました。研究機関ならびに研究者の方々には、お忙しい中にもかかわらずご協力いただき、ありがとうございました。今後とも定期的に調査を行っていく予定ですので、一層のご協力をお願いいたします。

なお、本調査の結果を基に「研究者ディレクトリ」を更新し、11月1日からサービスを開始しました。

今回の回収状況（12月1日現在）は以下のとおりです。

|                       | 機 関   |       |        | 研 究 者   |         |        |
|-----------------------|-------|-------|--------|---------|---------|--------|
|                       | 調査数   | 回収数   | 回収率(%) | 調査数     | 回答数     | 返送率(%) |
| 国立大学                  | 99    | 96    | 97.0   | 54,767  | 46,834  | 85.5   |
| 公立大学                  | 41    | 38    | 92.7   | 6,723   | 5,468   | 81.3   |
| 私立大学                  | 384   | 377   | 8.2    | 67,502  | 50,868  | 75.4   |
| 国立短期大学                | 39    | 37    | 94.9   | 1,326   | 1,003   | 75.6   |
| 公立短期大学                | 53    | 50    | 94.3   | 1,836   | 1,507   | 82.0   |
| 私立短期大学                | 499   | 456   | 91.4   | 16,594  | 14,124  | 85.1   |
| 国立高等専門学校              | 54    | 54    | 100.0  | 3,586   | 3,471   | 96.8   |
| 公立高等専門学校              | 5     | 5     | 100.0  | 358     | 287     | 80.2   |
| 私立高等専門学校              | 3     | 3     | 100.0  | 171     | 172     | 100.6  |
| 大学共同利用機関等             | 19    | 19    | 100.0  | 1,247   | 1,077   | 86.4   |
| 文 部 省 所 管<br>民間学術研究機関 | 151   | 122   | 80.8   | 990     | 899     | 90.8   |
| そ の 他                 | 16    | 16    | 100.0  | 522     | 447     | 85.6   |
| 合 計                   | 1,363 | 1,273 | 93.4   | 155,622 | 126,157 | 81.1   |

注)

- ・大学の短期大学部は、短期大学に含まれます。
- ・放送大学は、国立大学に含めました。
- ・研究者のうち調査数は、平成4年度調査時点を100としているため、返送率が100%を超えることがあります。

(データベース課)

## 学術情報センターシステムの継続手続きの変更

学術情報センターシステム（情報検索サービス、電子メールサービスおよび国際電子メールサービス）を平成7年度も引き続き利用する場合は、年度末に継続手続きを行うこととなっていますが、今年度から「学術情報センターへの直接申請による利用者の申請手続き」を変更しましたのでご注意ください。

なお、①支払科目を変更する場合、②文部省科学研究費補助金を支払科目とする場合、③利用期限が3月末日でない場合は、継続申請を行うことはできません。

また、平成6年度の新規および追加の受付は平成7年2月24日（金）まで、変更および取消の受付は平成7年3月30日（木）までとなります（平成7年3月31日は年度末処理のためサービスを休止します。）。

### 1. 学術情報センターへの直接申請による利用者の場合（新方式）

今年度からコマンドによる申請に変更します。利用者宛へ送付していた継続利用申請書は送付しません。支払責任者及び経理責任者と相談の上、今年度と同じ内容（登録内容に変更がない）で次年度も利用を継続する場合は「A P P L Y」コマンドにより継続の申請を行ってください。情報検索システムおよび電子メールシステムから、会話形式により継続申請および登録内容の確認ができます。

なお、登録内容に変更がある場合は、従来どおり「学術情報センターシステム利用申請書」により変更の申請を行うこととなりますが、次年度の登録内容を変更する場合は、必ず「継続後の変更」と明記してください。（「継続後の変更」と明記がない場合はその年度の内容が変更されることとなります。）

また、学術情報センターの受付期間は、平成7年2月1日（水）から平成7年3月20日（月）までとなりますのでその期間内に継続申請を行ってください。今年度内に次年度への継続を失念した場合は平成7年4月以降の利用はできなくなりますが、平成7年4月3日（月）からしばらくの期間は、前年度に失効した利用者番号でセンターに接続し「継続の有無の問い合わせ」に答えることにより失効した利用者番号での登録を受け付けます。（ただし、失効した利用者番号を利用可能にするのに約2週間位の時間が必要です。）

### 2. 大型計算機センター経由による利用者の場合（従来どおり）

利用者が所属する大型計算機センターへ継続申請してください。所定の手続きを行ったのち、所属センターのコマンド受付期間内に、第二センターとして学術情報センターの継続申請を、第二センター申請コマンド（継続）で行ってください。学術情報センターの受付期間は、平成7年2月1日（水）から平成7年3月20日（月）までになります。受付期間を過ぎた場合は、継続申請を行うことができませんので、平成7年4月以降に新規として申請してください。

なお、第二センター申請コマンドの詳細は所属の大型計算機センターへ問い合わせてください。

## 継続処理方法のまとめ

| 区分        | 利用者種別                            | 継続条件      | 継続手続き   |
|-----------|----------------------------------|-----------|---|
| 継続処理      | 学術情報センターへの直接申請による利用者<br>(新方式)    | 登録内容に変更なし | 「APPLY」コマンドにより継続する。   |
|           |                                  | 登録内容に変更あり | 利用申請書に「継続後の変更」と明記し、申請する。  |
|           | 大型計算機センター<br>経由による利用者<br>(従来どおり) | 登録内容に変更なし | 利用者が所属する大型計算機センターへ継続申請したのち所属センターのコマンド受付期間内に、第二センターとして学術情報センターへの継続申請を、第二センター申請コマンドで継続する。 |
|           |                                  | 登録内容に変更あり |   |
| 継続を失念した場合 | 学術情報センターへの直接申請による利用者<br>(新方式)    | 登録内容に変更なし | 失効した利用者番号でセンターに接続し、「継続の有無の問い合わせ」で継続する。  |
|           |                                  | 登録内容に変更あり | 失効した利用者番号でセンターに接続し、「継続の有無の問い合わせ」で継続後に利用申請書で変更の申請を行う。                                    |
|           | 大型計算機センター<br>経由による利用者<br>(従来どおり) | 登録内容に変更なし | 利用者が所属する大型計算機センターへ申請（継続・新規とも）したのち、第二センターとして学術情報センターへの申請を第二センター申請コマンドで新規に申請する。           |
|           |                                  | 登録内容に変更あり |   |

| 利用者                  | 申請区分              | 日程                          |
|----------------------|-------------------|-----------------------------|
| 学術情報センターへの直接申請による利用者 | 平成6年度の新規・追加       | 平成7年2月24日(金)まで              |
|                      | 平成6年度の変更・取消       | 平成7年3月30日(木)まで              |
|                      | コマンド及び申請書による継続    | 平成7年2月1日(水)から平成7年3月20日(月)まで |
|                      | 失効した利用者番号の継続      | 平成7年4月3日(月)からしばらくの間         |
|                      | 平成7年度の新規          | 平成7年3月27日(月)から              |
| 大型計算機センター経由による利用者    | 平成6年度の新規・追加       | 平成7年2月24日(金)まで              |
|                      | 平成6年度の変更・取消       | 平成7年3月30日(木)まで              |
|                      | 第二センター申請コマンドによる継続 | 平成7年2月1日(水)から平成7年3月20日(月)まで |
|                      | 平成7年度の新規          | 平成7年4月3日(月)から               |

(共同利用第一係)

## 科学研究費補助金による利用期限（2月15日）

学術情報センターシステムの利用料金の支払いのうち、文部省科学研究費補助金によるものの利用期限は、平成7年2月15日（水）までになります。利用料金の請求（納入告知書）は、平成7年2月20日頃に送付する予定です。

なお、CHARGEコマンドによる利用料金参照機能も、2月15日以降は利用出来ませんので、2月の利用料金についてはデータベース検索終了時に表示される利用料金の内訳をご覧ください。

（共同利用第一係）

## 接続ニュース

前号以降、新たに目録所在情報サービスの参加機関となった図書館は、以下のとおりです。

（平成6年11月末日現在）

| No. | 機 関 名        | 接続日     | No. | 機 関 名           | 接続日     |
|-----|--------------|---------|-----|-----------------|---------|
| 341 | 実践女子短期大学     | 6.08.11 | 350 | 比治山大学・比治山女子短期大学 | 6.10.26 |
| 342 | 静修女子大学       | 6.09.01 | 351 | 第一薬科大学          | 6.10.27 |
| 343 | 下関市立大学       | 6.09.07 | 352 | 金沢女子大学          | 6.10.31 |
| 344 | 日本工業大学       | 6.09.09 | 353 | 広島電機大学          | 6.11.08 |
| 345 | 目白学園女子短期大学   | 6.09.20 | 354 | 東京工業高等専門学校      | 6.11.15 |
| 346 | 愛媛県立医療技術短期大学 | 6.09.20 | 355 | 会津大学            | 6.11.24 |
| 347 | 神戸商科大学       | 6.09.26 | 356 | 札幌学院大学          | 6.11.29 |
| 348 | 東京医科大学       | 6.10.05 | 357 | 創価大学            | 6.11.30 |
| 349 | 大阪経済大学       | 6.10.25 |     |                 |         |

この結果、参加機関数は、国立大学97、公立大学29、私立大学175、共同利用機関12、短期大学17、高等専門学校5、その他22、合計357となりました。

（共同利用第一係）

## NACSIS-I LL利用状況 (平成6年度前期)

平成6年度前期のNACSIS-I LLシステムの利用状況は以下のとおりです。

## 1. 利用機関

| 区分    | 国立大学 | 公立大学 | 私立大学 | その他 | 計   |
|-------|------|------|------|-----|-----|
| 機関数   | 97   | 8    | 80   | 29  | 214 |
| 参加組織数 | 225  | 12   | 89   | 29  | 355 |

## 2. 月別レコード件数

| 年月      | 複写      | 貸借    | 計       |
|---------|---------|-------|---------|
| 1994年4月 | 30,422  | 1,031 | 31,453  |
| 5月      | 40,569  | 1,448 | 42,017  |
| 6月      | 44,284  | 2,038 | 46,322  |
| 7月      | 40,614  | 1,665 | 42,279  |
| 8月      | 36,246  | 1,570 | 37,816  |
| 9月      | 40,483  | 1,516 | 41,999  |
| 合計      | 232,618 | 9,268 | 241,886 |

## 3. 図書館種別間の流動

上段：複写件数 中段：貸借件数 下段：合計

| 依頼館 \ 受付館 | 国立大学    | 公立大学  | 私立大学   | その他   | 合計      |
|-----------|---------|-------|--------|-------|---------|
| 国立大学      | 194,341 | 275   | 4,528  | 3,082 | 202,226 |
|           | 6,930   | 17    | 554    | 114   | 7,615   |
|           | 201,271 | 292   | 5,082  | 3,196 | 209,841 |
| 公立大学      | 2,763   | 86    | 544    | 17    | 3,410   |
|           | 128     | 3     | 53     | 1     | 185     |
|           | 2,891   | 89    | 597    | 18    | 3,595   |
| 私立大学      | 8,895   | 511   | 10,253 | 314   | 19,973  |
|           | 589     | 14    | 404    | 20    | 1,027   |
|           | 9,484   | 525   | 10,657 | 334   | 21,000  |
| その他       | 5,280   | 156   | 1,508  | 65    | 7,009   |
|           | 377     | 5     | 49     | 10    | 441     |
|           | 5,657   | 161   | 1,557  | 75    | 7,450   |
| 合計        | 211,279 | 1,028 | 16,833 | 3,478 | 232,618 |
|           | 8,024   | 39    | 1,060  | 145   | 9,268   |
|           | 219,303 | 1,067 | 17,893 | 3,623 | 241,886 |

(専門・電子情報係)

## NACSIS-IRデータベース収納状況

平成6年10月21日現在

| No. | データベース名称   | 収納件数           | 収録期間      |
|-----|--|----------------|-----------|
| 1   | 科学研究費補助金<br>研究成果概要データベース   | 113,616        | 昭和60年度～   |
| 2   | 学位論文索引データベース   | 97,760         | 昭和59年度～   |
| 3   | 学会発表データベース   | 179,946        | 昭和62年3月～  |
| 4   | 学術論文データベース第一系(全文)<br>(電子) (抄録)                                     | 1,573<br>3,842 | 平成元年度～    |
| 5   | 学術論文データベース第二系<br>(化学)  | 11,401         | 昭和58年1月～  |
| 6   | 学術論文データベース第五系<br>(理学)  | 3,267          | 平成4年1月～   |
| 7   | 海外研究プロジェクト<br>データベース   | 80,972         | 平成4年1月末現在 |
| 8   | 民間助成研究成果概要データベース   | 1,885          | 昭和39年度～   |
| 9   | 経済学文献索引データベース  | 101,922        | 昭和58年4月～  |
| 10  | 学会予稿集電子ファイル  | 113,655        | 1955年4月～  |
| 11  | 臨床症例データベース   | 2,730          | 1987年1月～  |
| 12  | 雑誌記事索引データベース   | 1,076,586      | 1984年1月～  |
| 13  | 現行法令データベース   | 3,698          | 平成5年9月末現在 |
| 14  | 維新史料綱要データベース   | 27,347         |           |
| 15  | 木簡データベース   | 15,925         |           |
| 16  | 研究者ディレクトリ  | 130,109        | 昭和63年5月現在 |
| 17  | データベース・ディレクトリ  | 1,490          | 平成5年8月現在  |
| 18  | 家政学文献索引データベース  | 57,276         | 1979年4月～  |
| 19  | RAMB IOS   | 5,382          | 1983年4月～  |
| 20  | 化学センサーデータベース   | 14,650         | 1975年1月～  |
| 21  | 電気化学データベース   | 72,153         |           |
| 22  | 日本独文学会文献情報データベース   | 12,729         | 1980年～    |
| 23  | スラブ地域研究文献データベース  | 3,128          | 1988年～    |
| 24  | 文化財科学文献データベース  | 13,873         | 1879年1月～  |
| 25  | 化学と教育誌データベース   | 2,787          | 1977年1月～  |
| 26  | Life Sciences Collection PULS<br>Marine Biology and BioEngineering | 1,351,534      | 1982年1月～  |

| No. | データベース名称                    | 収納件数                   | 収録期間      |
|-----|-----------------------------|------------------------|-----------|
| 27  | MathSci                     | 1,592,047              | 1940年1月～  |
| 28  | COMPENDEX PLUS              | 2,867,949              | 1976年1月～  |
| 29  | Harvard Business Review     | 2,705                  | 1927年1月～  |
| 30  | ISTP & B                    | 2,345,383              | 1982年1月～  |
| 31  | EMBASE                      | 3,227,047              | 1984年4月～  |
| 32  | SciSearch                   | 8,380,509              | 1983年1月～  |
| 33  | Social SciSearch            | 1,473,925              | 1983年1月～  |
| 34  | A & H Search                | 1,353,311              | 1983年1月～  |
| 35  | 学術雑誌目次速報データベース              | 2,676                  |           |
| 36  | 目録所在情報データベース<br>(和図書)       | 929,172<br>9,658,926   |           |
| 37  | 目録所在情報データベース<br>(洋図書)       | 2,046,886<br>5,449,834 |           |
| 38  | 目録所在情報データベース<br>(和雑誌)       | 75,758<br>1,557,970    |           |
| 39  | 目録所在情報データベース<br>(洋雑誌)       | 121,833<br>1,098,553   |           |
| 40  | 科学技術関係欧文会議録<br>データベース       | 40,096                 | 昭和60年4月～  |
| 41  | アメリカン・センター図書館<br>総合目録データベース | 8,163                  | 平成5年4月末現在 |
| 42  | JPMARC                      | 1,667,111              | 1968年1月～  |
| 43  | LCMARC (Books)              | 3,731,246              | 1968年1月～  |
| 44  | LCMARC (Serials)            | 633,133                | 1973年1月～  |
| 45  | 大型コレクションディレクトリ              | 479                    | 1978年4月～  |
| 46  | 学術関係会議等開催情報<br>(日本学術会議編)    | 14,117                 | 1991年4月～  |
| 47  | 学協会集会スケジュール<br>(日本工学会編)     | 3,009                  | 1991年4月～  |

(注) No. 36～39のデータベースの上段は書誌件数、下段は所蔵件数。

(システム業務係)

## NACISIS-CATデータベース構築状況

平成6年10月21日現在

| データベース名称                                       |                 | 収納件数     | 備考(収録期間等) |                  |
|--|-----------------|----------|-----------|------------------|
| 総<br>合<br>目<br>録<br>デ<br>ー<br>タ<br>ベ<br>ー<br>ス | 和 図 書           | 書 誌      | 929,880   |                  |
|  |                 | 所 蔵      | 9,689,685 |                  |
|  | 洋 図 書           | 書 誌      | 1,304,100 |                  |
|  |                 | 書誌(週及)   | 743,801   |                  |
|  |                 | 所 蔵      | 5,453,363 |                  |
|  | 和 雑 誌           | 書 誌      | 77,476    |                  |
|  |                 | 所 蔵      | 1,583,894 |                  |
|  | 洋 雑 誌           | 書 誌      | 125,214   |                  |
|  |                 | 所 蔵      | 1,118,594 |                  |
|  | 著 者 名 典 拠       |          | 747,336   |                  |
|  | 統 一 書 名 典 拠     |          | 5,447     |                  |
|  | 和 雑 誌 変 遷 マ ッ プ |          | 8,632     |                  |
| 洋 雑 誌 変 遷 マ ッ プ                                |                 | 12,793   |           |                  |
| 参<br>照<br>フ<br>ァ<br>イ<br>ル                     | LC/MARC         | 洋図書書誌    | 4,495,048 | 1968年1月～1994年10月 |
|  |                 | 洋雑誌書誌    | 633,133   | 1973年1月～1994年9月  |
|  |                 | 非文字書誌    | 268,147   | 1973年1月～1993年7月  |
|  |                 | 洋書著者名典拠  | 2,700,194 | 1977年1月～1994年10月 |
|  |                 | 洋書統一書名典拠 | 150,541   | 1977年1月～1994年10月 |
|  | JP/MARC         | 和図書書誌    | 1,672,765 | 1948年1月～1994年10月 |
|  |                 | 和雑誌書誌    | 91,764    | 1968年8月～1993年3月  |
|  |                 | 和書著者名典拠  | 327,561   |                  |
|  | UK/MARC         | 洋図書書誌    | 1,429,888 | 1950年1月～1994年10月 |
|  | TRC/MARC        | 和図書書誌    | 378,268   | 1985年4月～1994年10月 |
|  | GPO/MARC        | 洋図書書誌    | 363,518   | 1976年1月～1994年10月 |

(システム業務係)



## 平成6年度学術情報センターシンポジウム開催

平成6年度学術情報センターシンポジウムは、「新社会基盤としての学術情報システム」をテーマに、大阪と東京の2会場で開催しました。大阪会場は10月13日（木）にオーバルホールにおいて開催し122名の参加者があり、東京会場は11月16日（水）に日仏会館ホールにおいて開催し、459名の参加者がありました。

井上如学術情報センター研究開発部長の司会で開会し、大阪会場では主催者を代表して井上研究開発部長が挨拶、東京会場では猪瀬博学術情報センター所長の挨拶の後、次のようなプログラムで実施しました。

○新社会基盤としての情報通信ネットワーク

NTT研究開発本部 技術企画部長 加藤 邦 紘

○SINETの高度化

学術情報センター 教 授 浅野 正一郎（東京会場）

学術情報センター 助教授（客員） 魚 瀬 尚 郎（大阪会場）

○電子図書館の試行実験

学術情報センター 教 授 安 達 淳

○情報検索システムの将来

学術情報センター 教 授 小 山 照 夫

○次期目録システムの構想

学術情報センター 教 授 宮 澤 彰

講演者は、それぞれ配布資料にもとづいてOHPを使って講演を行いました。

開催の準備・実施にあたり、ご協力いただいた方々に厚くお礼申し上げます。

東京会場には、定員を越える多数のお申し込みをいただきましたが、会場等の都合で、入場をご遠慮いただいた方があったことをお詫び致します。なお、当日の配布資料に残部がありますので、ご希望の方は管理部研修課にお問い合わせください。

（研修課）



▲司会進行する井上部長  
主催者挨拶 猪瀬所長▶



▼講演中の加藤氏



▲参加者の質問に答える講師陣（大阪会場）

講演中の浅野教授▶



◀熱心な参加者で満席の東京会場

## INE'94 (OSI相互接続デモ)で 学術情報ネットワーク紹介

さる9月26日(月)から29日(木)まで東京国際見本市会場(晴海)でデータショウ'94が開催され、同会場内で(財)情報処理相互運用技術協会(INTAP)が主催するINE'94(OSI相互接続デモ)が実施された。

異機種間の電子計算機によるネットワークのOSI相互接続の事例紹介として、学術情報ネットワークの実演デモが行われ、電子メールシステム(SIMAIL)が紹介された。

実演デモは東京大学大型計算機センターと名古屋大学大型計算機センターの協力を得て行われ、開催期間中に44回の実演を行い、同ブースに約26,000人が訪れ本センターの電子メールシステムに興味深く耳を傾けていた。

(共同利用第一係)



## FID付設展示会に出展

さる10月2日(日)から9日(日)まで、大宮ソニックシティで「第47回国際情報ドキュメンテーション連盟国際会議(FID)」が開催され、日本を含め各国から多数の研究者等が会議に参加した。

同会議開催中の10月5日(水)から7日(金)の3日間付設展示会が開催され、学術情報センターも本センターの事業の紹介と利用の促進を図るために出展し、電子図書館のテスト版の実演、情報検索サービス(NACISIS-IR)、目録所在情報サービス(NACISIS-CAT, ILL)の実演等を行った。

今回の出展では、特に電子図書館に関心が高く、同会議に出席した研究者等のうち内、約200人が本センターのブースを訪れた。海外の研究者等に対する広報活動は今回が初めての試みであったが、国内だけでなく海外の研究者等も本センターに期待を寄せていることを強く感じた3日間であった。

また、11月4日(金)に東京学芸大学附属図書館で開催された日本図書館協会大学図書館部会および国公私立大学図書館協力委員会が主催する「講演とワークショップ 大学図書館の広報活動 - 図書館を200%活用して貰うために -」にも出展し、電子図書館のテスト版の実演、目録所在情報サービス(NACISIS-CAT, ILL)の実演等を行い、国公私立大学図書館関係者にも広報活動を行った。

(共同利用第一係)



参与・評議員・運営協議員・委員会委員名簿

| 氏名            | 所属                   | 氏名                | 所属                       |
|---------------|----------------------|-------------------|--------------------------|
| 参 与           |                      | 評 議 員             |                          |
| 秋山 龍          | 日本空港ビルデング株式会社相談役     | 阿南 功一             | 筑波大学名誉教授                 |
| 天城 勲          | 財団法人高等教育研究所理事長       | 有馬 朗人             | 理化学研究所理事長                |
| 井内慶次郎         | 財団法人放送大学教育振興会会長      | 稲田 獻一             | 大阪大学名誉教授                 |
| 植之原道行         | 日本電気株式会社特別顧問         | 梅田 誠              | 横浜市立大学長                  |
| 岡本 道雄         | 財団法人国際高等研究所理事長       | 大崎 仁              | 日本学術振興会理事長               |
| 小口 文一         | 株式会社富士通研究所相談役        | 大野 公男             | 北海道情報大学通信教育部長            |
| 加藤木理勝         | 前国立国会図書館長            | 岡村 總吾             | 東京電機大学長                  |
| 越田 保          | 前三井物産株式会社顧問          | 木田 宏              | (財)第二国立劇場運営財団理事長         |
| 小山 弘志         | 国文学研究資料館名誉教授         | 木村 孟              | 東京工業大学長                  |
| 津田 良成         | 愛知淑徳大学文学部教授          | 小山 宙丸             | 早稲田大学総長室参与               |
| 中村 守孝         | 日本科学技術情報センター理事長      | 佐々木高明             | 国立民族学博物館長                |
| 野村 忠夫         | 前財団法人放送文化基金顧問        | 佐竹 昭廣             | 国文学研究資料館長                |
| 福村 晃夫         | 中京大学情報科学研究科長         | 清水 司              | 東京家政大学長                  |
| 松永 英          | 国立遺伝学研究所名誉教授         | 高橋潤二郎             | 慶應義塾大学常任理事               |
| 渡邊 龍雄         | 財団法人データベース振興センター専務理事 | 長倉 三郎             | 総合研究大学院大学長               |
| John R.Pierce | カリフォルニア工科大学名誉教授      | 西田 龍雄             | 前学術情報センター副所長             |
|               |                      | 野坂 邦史             | 国際電信電話株式会社代表取締役副社長       |
|               |                      | 松田 達郎             | 国立極地研究所名誉教授              |
|               |                      | 宮津純一郎             | 日本電信電話株式会社代表取締役副社長       |
|               |                      | 森 亘               | 科学技術会議議員                 |
| 運 営 協 議 員     |                      | ネ ッ ト ワ ー ク 委 員 会 |                          |
| 安達 勤          | 筑波大学構造工学系教授          | 斎藤 恒雄             | 筑波大学学術情報処理センター長          |
| 岡田 茂弘         | 国立歴史民俗博物館情報資料研究部長    | 荻田 幸雄             | 高エネルギー物理学研究所データ処理センター助教授 |
| 開原 成允         | 東京大学附属図書館長           | 北川 一              | 豊田工業大学制御情報工学科教授          |
| 黒田 晴雄         | 東京理科大学総合研究所教授        | 開原 成允             | 東京大学附属図書館長               |
| 後藤 英一         | 神奈川大学理学部教授           | 金澤 正憲             | 京都大学大型計算機センター助教授         |
| 鹽野 宏          | 成蹊大学法学部教授            | 長谷川利治             | 京都大学大型計算機センター長           |
| 清水 龍登         | 東京国際大学商学部教授          | 林 英輔              | 山梨大学情報処理センター長            |
| 手塚 晃          | 金沢工業大学客員教授           | 安永 尚志             | 国文学研究資料館研究情報部情報処理室長      |
| 宮川 公男         | 一橋大学商学部教授            | 松方 純              | 宇宙科学研究所宇宙科学企画情報解析センター助教授 |
| 山本 毅雄         | 図書館情報大学図書館情報学部教授     | 青木 利晴             | 日本電信電話株式会社取締役通信網総合研究所長   |
| 山田 尚勇         | 学術情報センター副所長          | 森 瑞穂              | 東京理科大学情報処理センター長          |
| 井上 如          | 学術情報センター研究開発部長       | 飯田 記子             | 関西大学総合情報学部教授             |
| 内藤 衛亮         | 学術情報センター研究主幹         | 井上 如              | 学術情報センター研究開発部長           |
| 濱田 喬          | 学術情報センター研究主幹         | 濱田 喬              | 学術情報センター研究主幹             |
| 根岸 正光         | 学術情報センター研究主幹         | 浅野正一郎             | 学術情報センター教授               |
| 小山 照夫         | 学術情報センター教授           | 橋爪 宏達             | 学術情報センター助教授              |
| 安達 淳          | 学術情報センター教授           | 上田 敏次             | 学術情報センター事業部長             |
| 浅野正一郎         | 学術情報センター教授           |                   |                          |
| 小野 欽司         | 学術情報センター教授           |                   |                          |
| 宮澤 彰          | 学術情報センター教授           |                   |                          |

| 氏名        | 所属                           | 氏名      | 所属                                 |
|-----------|------------------------------|---------|------------------------------------|
| データベース委員会 |                              | 総合目録委員会 |                                    |
| 飯高 洋一     | 西東京科学大学工学部教授                 | 上田 修一   | 慶應義塾大学文学部教授                        |
| 大野 公男     | 北海道情報大学通信教育部長                | 木村 明彦   | 東京都立大学付属図書館事務長                     |
| 開原 成允     | 東京大学附属図書館長                   | 近藤禎禎男   | 東京大学附属図書館事務部長                      |
| 熊本 芳朗     | 電気通信大学総合情報処理センター長            | 澁川 雅俊   | 慶應義塾大学メディアネット本部事務長                 |
| 小山 健夫     | 東京大学大型計算機センター長               | 高橋 柏    | 筑波大学図書館部長                          |
| 斎藤 恒雄     | 筑波大学学術情報処理センター長              | 鶴田 真也   | 国立国会図書館業務機械化室長                     |
| 千原 秀昭     | (社)化学情報協会専務理事                | 松井 幸子   | 図書館情報大学図書館情報学部教授                   |
| 津田 良成     | 愛知淑徳大学文学部教授                  | 松浦 正    | 大阪大学附属図書館事務部長                      |
| 長谷川利治     | 京都大学大型計算機センター長               | 丸山昭二郎   | 鶴見大学図書館長                           |
| 松田 芳郎     | 一橋大学経済研究所教授                  | 宮本 哲    | 東京都立中央図書館資料部整理課長                   |
| 安永 尚志     | 国文学研究資料館研究情報部情報処理室長          | 山崎 久道   | 株式会社三菱総合研究所研究基盤センター<br>資料・情報サービス部長 |
| 山本 毅雄     | 図書館情報大学図書館情報学部教授             | 井上 如    | 学術情報センター研究開発部長                     |
| 若林 克己     | 群馬大学生体調節研究所附属生活活性物質<br>センター長 | 内藤 衛亮   | 学術情報センター研究主幹                       |
| 井上 如      | 学術情報センター研究開発部長               | 宮澤 彰    | 学術情報センター教授                         |
| 根岸 正光     | 学術情報センター研究主幹                 | 影浦 峯    | 学術情報センター助教授                        |
| 小山 照夫     | 学術情報センター教授                   | 上田 敏次   | 学術情報センター事業部長                       |
| 大山 敬三     | 文部省学術国際局学術調査官                |         |                                    |
| 上田 敏次     | 学術情報センター事業部長                 |         |                                    |
| 課金委員会     |                              | 紀要編集委員会 |                                    |
| 三好 克彦     | 北海道大学大型計算機センター教授             | 石田 晴久   | 東京大学大型計算機センター教授                    |
| 山本 毅雄     | 図書館情報大学図書館情報学部教授             | 開原 成允   | 東京大学附属図書館長                         |
| 小山 健夫     | 東京大学大型計算機センター長               | 加藤 誠巳   | 上智大学理工学部教授                         |
| 輕部 征夫     | 東京大学先端科学技術研究センター教授           | 清水 忠雄   | 東京理科大学理学部教授                        |
| 養老 孟司     | 東京大学医学部教授                    | 田畑 孝一   | 図書館情報大学図書館情報学部教授                   |
| 内池慶四郎     | 慶應義塾大学メディアネット所長              | 田村 俊作   | 慶應義塾大学文学部教授                        |
| 林 英輔      | 山梨大学情報処理センター長                | 名和小太郎   | 新潟大学法文学部教授                         |
| 星野 聰      | 京都大学大型計算機センター教授              | 松村多美子   | 図書館情報大学図書館情報学部教授                   |
| 田中 一朗     | 大阪大学附属図書館長                   | 山田 尚勇   | 学術情報センター副所長                        |
| 有川 節夫     | 九州大学大型計算機センター長               | 井上 如    | 学術情報センター研究開発部長                     |
| 上田 孝      | 文部省学術国際局学術情報課学術情報企画官         | 濱田 喬    | 学術情報センター研究主幹                       |
| 内藤 衛亮     | 学術情報センター研究主幹                 | 根岸 正光   | 学術情報センター研究主幹                       |
| 濱田 喬      | 学術情報センター研究主幹                 | 小山 照夫   | 学術情報センター教授                         |
| 根岸 正光     | 学術情報センター研究主幹                 | 小野 欽司   | 学術情報センター教授                         |
| 三浦 良雄     | 学術情報センター管理部長                 |         |                                    |
| 上田 敏次     | 学術情報センター事業部長                 |         |                                    |

## 人 事 異 動

| 発令年月日         | 氏 名   | 官 職 名                  | 旧 官 職 名              |
|---------------|-------|------------------------|----------------------|
| <b>(辞職)</b>   |       |                        |                      |
| 6. 7. 13      | 前谷 強志 | 事業部システム管理課<br>システム管理係長 |                      |
| <b>(転出)</b>   |       |                        |                      |
| 6. 10. 1      | 小野左知子 | 国立国会図書館                | 事業部目録情報課図書目録情報係      |
| <b>(昇任)</b>   |       |                        |                      |
| 6. 10. 1      | 渡邊 康  | 管理部会計課用度係用度主任          | 管理部会計課用度係            |
| <b>(所内異動)</b> |       |                        |                      |
| 6. 10. 16     | 鈴木 新一 | 事業部システム管理課システム管理係長     | 事業部システム管理課ネットワーク管理係長 |
| <b>(転入)</b>   |       |                        |                      |
| 6. 10. 16     | 大山 貢  | 事業部システム管理課ネットワーク管理係長   | 東北大学経理部情報処理課企画掛企画主任  |

## 海外渡航一覧

|               |                         |
|---------------|-------------------------|
| 8.27 ~ 9. 4   | 山田副所長 (独国)              |
| 9.11 ~ 9.18   | 宮澤教授、システム管理課内田係員 (連合王国) |
| 9.14 ~ 9.16   | 井上研究開発部長 (大韓民国)         |
| 10. 4 ~ 10.10 | 橋爪助教授 (独国)              |
| 10. 7 ~ 10.20 | 高須助教授 (イスラエル国)          |
| 10.12 ~ 10.15 | 橋爪助教授 (大韓民国)            |
| 10.15 ~ 10.27 | 浅野教授 (仏国)               |
| 10.23 ~ 11. 3 | 根岸研究主幹 (米国)             |
| 10.24 ~ 10.29 | 内藤研究主幹 (香港)             |
| 11. 2 ~ 11. 6 | 計助手、相澤助手 (米国)           |

## 学術情報センター日誌

[平成6年7月30日~平成6年11月30日]

|      |   |
|------|---|
| 8.10 | Univ.of Santa Clara Mr.Dana Freiburger、J I C S T小野修一システム一課長来訪 |
| 9. 5 | 情報ネットワーク担当職員研修 (ネットワーク入門①) ~ 9                                |
| 9. 9 | 第4回目録所在情報サービス利用説明会  |
| 9. 9 | ベルリン国立図書館 Dr.Helga DRESSLER、立教大学 河井弘志教授来訪                     |

- 9.12 スウェーデン王国 Stockholm University Library Mr.Kurt FRANSSON、  
AB Volvo.Technological Department Ms.Susanne MOLANDER 来訪
- 9.13 電子メールシステム講習会（基礎②）
- 9.19 スウェーデン王国 Stockholm University Library Mr.Kurt FRANSSON来訪
- 9.20 北京師範大学 顧 明遠氏、裴 娣娜 氏、李 守福氏、霍 力岩氏、  
北京師範大学燕北附属中学校 王 三貴氏、侯 星敏氏、  
福島大学教育学部 庄司他人男附属小学校校長、白井嘉一教授、  
長尾光之教授来訪
- 9.22 情報検索・電子メール利用説明会（第1回の追加）
- 9.26 第4回目録システム講習会 ～30
- 9.27 オランダ大使館 ヘル・P・デ・フロート氏、J・W・スタンベル氏来訪
- 9.28 オーストラリア国立大学図書館 Mr.Toshio TAKAGI氏来訪
- 9.30 独国 GMD-First Dr.Urlich WATTENBERG 来訪
10. 3 連合王国Oxford University, Computing Service、Dr. Lou BURNARD来訪
10. 4 第3回 I L Lシステム講習会 ～6
10. 4 連合王国British Library Dr. Brian LANG来訪
10. 7 第5回目録所在情報サービス利用説明会
- 10.11 第1回総合目録データベース実務研修会 ～28
- 10.12 独国ユネスコ総合科学情報部長 Mr.Wolfgang LONHER 来訪
- 10.13 学術情報センターシンポジウム（大阪・オーバルホール）
- 10.13 Pittsburg University Dr.Ida FLYNN、図書館情報大学 藤田岳久助手来訪
- 10.13 仏国リール第三大学 Prof.Gerard LOSFELD、  
国立科学研究センター Ms.Katell BRIATTE 来訪
- 10.14 インドネシア科学ドキュメンテーション・情報センター科学情報部  
Mrs. Utari BUDIARDJO、  
前マレーシア国立図書館長 Dr. D. E. K. WIJASURIYA、  
フィリピン科学技術省 Miss. Merlita M. OPENA、  
ベトナム科学技術情報ドキュメンテーションセンター Dr. Ta Ba HUNG、  
ユネスコ総合情報計画Miss Delia E. TORRIJOS.Mrs.Onanong  
CHEVAPRAPANANTA、図書館情報大学 松村多美子教授来訪
- 10.17 第5回目録システム講習会 ～21
- 10.17 J I C S T研修生（大韓民国）計20名来訪
- 10.24 N A C S I S - I R講習会（基礎コースI③）
- 10.25 N A C S I S - I R講習会（基礎コースI④）
- 10.27 電子メールシステム講習会（基礎③）
- 10.28 第2回情報検索・電子メール利用説明会
- 10.31 仏国Bibliotheque Nationale de France,Cultural Developmetn Mr.Roland  
SCHAER、東京日仏学院 Mr.Denis BRUCKMANN 来訪
11. 1 N A C S I S - I R講習会（基礎コースII②）～2

11. 4 タイ国 King Monkut's Institute of Technology Prof. PAIRASH Thajchayapong、  
Asia Institute of Technology Prof. Kenzo Takahashi 来訪
11. 9 与党政策調整会議視察
- 11.16 学術情報センターシンポジウム（東京・日仏会館ホール）
- 11.17 モンゴル中央図書館 Mrs.Chimiddorjiin Narmandah、Mrs.Ochirin Saranlham、  
国立国会図書館 亀田進久国際協力課課長補佐来訪
- 11.21 米国 The Center for Research Libraries Mr.Donald B.SIMPSON 来訪
- 11.30 第23回運営協議員会



# サービス用電話番号及び問い合わせ先電話番号の変更

◇◇◇◇◇ 平成7年1月から ◇◇◇◇◇

平成7年1月から学術情報センター千葉分館電子計算機棟が稼働を開始します。これに伴い、各サービスを利用するための電話番号および問い合わせ先電話番号が以下のとおり変更となりますのでお知らせします。

## (1) サービス用電話番号 (平成7年1月から)

| 新電話番号 平成7年1月から   | 平成6年12月16日まで  |
|--|---|
| 情報検索サービス<br>043-285-1111 (MNP)<br>(1200bps~14.4Kbps)   | 03-3942-2505 (2400bps MNP)<br>03-3942-2447 (2400bps)<br>03-3942-8941 (1200bps)<br>03-3942-2939 (1200bps VADIC)<br>03-3942-2929 (300bps) |
| 電子メールシステム<br>043-285-4171 (MNP)<br>(1200bps ~ 9600bps) | 03-3942-9311 (9600bps MNP)<br>03-3942-7011 (1200bps MNP)  |

## (2) 東京近隣地域の利用者向電話回線

東京近隣地域の利用者へのサービス低下を回避するため、大塚地区に学術情報センターの情報検索サービス、電子メールシステムの各サービスを利用するための電話回線を新たに設置します。利用方法の詳細はセンターニュース30号に掲載しています。

- ・ 電話番号：03-3942-8940 (各サービスで共通)
- ・ 最大通信速度：14.4Kbps (1200bps~14.4Kbps自動認識)
- ・ 接続手順：電話回線に接続後、メニュー表示に従った番号選択により各サービスに接続
- ・ 漢字コード：情報検索サービスの場合には、パソコン通信で一般的に利用されているシフトJISやEUC漢字コードが利用可能  
電子メールシステムの場合は、EUC漢字コードが利用可能

## (3) DDX-P回線番号

| 新電話番号 平成7年1月から   | 平成6年12月16日まで   |
|--|--|
| 情報検索サービス<br>4166139 (DDX-TP,INS-P用センタ番号)<br>4167387 (N-1用)                 | 3612822 (DDX-TP,INS-P用センタ番号)<br>3612821 (N-1用)               |
| 目録所在情報サービス<br>4167389 (VTSS用80年版)<br>4167393 (VTSS用76年版)<br>4167422 (N-1用) | 3137108 (VTSS用80年版)<br>3571150 (VTSS用76年版)<br>3522051 (N-1用) |
| 電子メールシステム<br>4166138 (DDX-TP,INS-P用センタ番号)<br>4166136 (N-1用)                | 3131018 (DDX-TP,INS-P用センタ番号)<br>3551273 (N-1用)               |

- DDX-TP、INS-P用の回線番号の変更によって利用者側の通信ソフトの接続用通信パラメータを再設定する必要がありますので変更をお願いします。
- N-1、VTSS用の回線番号の変更については、該当する接続機関等宛に別途連絡しますので、コンピュータの環境設定をシステムエンジニア等に依頼するなどして変更していただくようお願いします。

#### (4) 問い合わせ先住所 (平成7年1月から)

〒263  
千葉県千葉市稲毛区弥生町1-8  
学術情報センター千葉分館

#### (5) 問い合わせ先電話番号 (平成7年1月から)

| 新電話番号 平成7年1月から  | 平成6年12月まで         |
|---|-------------------|
| 電子メールシステムとその各サービスの利用方法に関すること<br>システム管理係<br>043-285-4911,4912  | 03-3942-6943,6944 |
| 情報検索システム及び目録所在情報サービスの接続に関すること<br>システム業務係<br>043-285-4914,4915 | 03-3942-6945,6946 |
| ネットワークの加入に関すること<br>ネットワーク管理係<br>043-285-4926,4927             | 03-3942-6947,6948 |
| ネットワークの手続き及び障害に関すること<br>ネットワーク運用係<br>043-285-4924,4925        | 03-3942-6918,6970 |
| 上記各問い合わせ先ファックス番号<br>(共通)<br>043-290-1380                      | 03-3942-9398      |

#### (6) 西千葉への移転に係るサービス休止期間

電子計算機棟が平成6年11月22日(火)に西千葉地区に竣工したことにより、電算機等設備の移転を平成6年12月17日(土)から実施いたします。この間の各サービスの休止期間は下記のとおりです。利用者の皆様には大変ご迷惑をお掛けすることとなりますが、ご理解のほどお願いいたします。

| サービス       | 休止期間                        |
|------------|-----------------------------|
| 目録所在情報サービス | 平成6年12月17日(土)～平成7年1月7日(土)   |
| 情報検索サービス   | 平成6年12月17日(土)～平成7年1月7日(土)   |
| 電子メールサービス  | 平成6年12月17日(土)～平成7年1月3日(火)   |
| 学術情報ネットワーク | 平成6年12月17日(土)～平成6年12月22日(木) |

(共同利用課、システム管理課)